

製品名: HGF マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86051**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|-----------------|
| 希釈倍率 | WB 1:200-1:1000 |
| 分子量 | 83.1kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | HGF |
| 別名 | Hepatocyte growth factor, Hepatopoietin-A, Scatter factor, SF, Hepatocyte growth factor alpha chain, Hepatocyte growth factor beta chain, HGF, HPTA |
| 遺伝子 ID | 3082.0 |
| SwissProt ID | P14210 |
| 免疫原 | この HGF 抗体は、ヒト HGF の 521 ~ 554 アミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。 |

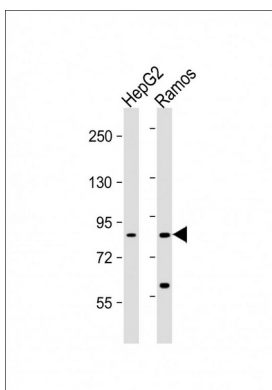
背景

肝細胞増殖因子（HGF）は、プロトオンコゲン c-Met 受容体に結合した後、チロシンキナーゼシグナル伝達カスケードを活性化することで、細胞増殖、細胞運動性、および形態形成を制御します。HGF は間葉系細胞から分泌され、主に上皮由来の細胞に対して多機能性サイトカインとして作用します。有糸分裂促進、細胞運動性、およびマトリックス浸潤を刺激する能力により、血管新生、腫瘍形成、および組織再生において中心的な役割を果たします。HGF は単一の不活性ポリペプチドとして分泌され、セリンプロテアーゼによって 69 kDa の α 鎖と 34 kDa の β 鎖に切断されます。 α 鎖と β 鎖間のジスルフィド結合により、活性なヘテロ二量体分子が生成されます。このタンパク質は S1 ペプチダーゼのプラスミノーゲンサブファミリーに属しますが、検出可能なプロテアーゼ活性は示しません。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写変異体が生成されます。[RefSeq 提供]

研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



全レーン：抗ヒト HGF C 末端抗体 (1:1000 希釈)